

晩秋から初冬の「秋吉台」植物さんぽ

寒さに耐えて
咲いている花たち

「ほっとやまはく」

タイム②⑦



今年も残すところあと1カ月ほどになり、寒さに凍える季節になってきました。夏は夏で暑いことを理由に、冬は冬で寒



ススキの草原

センボンヤリ

センボンヤリ(千本槍)というネーミング自体が面白いのですが、そもそもセンボンヤリって、春に咲いて実を付けるのでは? と思つた人もいるかもしれません。それは間違つてはいないのです



センボンヤリ



キキョウ



ジャケツイバラ

山口県立山口博物館
TEL083-922-0294
月曜休館(祝日の場合は翌日)。
最新情報はホームページで



キキョウ

キキョウ(桔梗)といえば、夏ごろから初秋に咲く美しい花が有名ですが、野生のものはほとんど見られなくなり、環境省の絶滅危惧種(Ⅱ類)に指定されています。そんな有名なキキョウですが、花が枯れても実が結

構目立ちます。

ジャケツイバラ

ジャケツイバラ(蛇結茨)という名の通り、とげがあつてつる性で、ヘビが絡み合うように枝が重なり合つマメ科の植物です。5月ごろに美しい黄色の花を咲かせますが、秋になると実が裂けて、中の種子が見えるようになりますのが特徴です。

今回は、秋吉台の中でもあえて寒い12月に見られる植物の一部を紹介しましたが、10月に秋吉台に行つた時には、秋晴れで、はるか遠くの九州の山まで見ることができま

した。またこの季節の冷え込んだ早朝には雲海のような景色を見ることができるともいえます。秋吉台まで出掛けなくても自宅の庭や近くの公園などでも、探せば植物に限らずさまざまな自然や景色を見つけないで済みます。小さな出会いや発見を求めてぜひあちこち「さんぽ」してみませんか?

杉江喜寿(学芸専門監
兼学芸課長)

▽次回は12月7日です。

ススキの大草原

何といつても秋吉台の一番の特徴は、広大な草原です。この草原は自然に維持できるものではなく、長年にわたつて地元の方々が山焼きなどで苦労して守つてこられたものです。そんな苦勞を思

いながら、この草原を眺めるとまたありがたみが増して、より一層美しく感じられます。近頃はセ



ヤマジノギク



アキノキリンソウ

12月になつてもまだ頑張つて咲いている花もいくつかあります。一つはアキノキリンソウ(秋の麒麟草)です。アワダチソウとも呼ばれます。もう一つはヤマジノギク(山路野菊)です。アレノギクとも呼ばれます。どちらもキク科の植物で花のシーズンは終わつていますが、探せば寒さに負けずにあちこちで咲いています。枯れ草が多い茶色っぽい景色の中で、紫がかつた花びら(花弁)のヤマジノギクを見るとちよつとほつとします。

面白い形の果実が
できる植物たち

さすがに12月に草原で咲いている花は少ないのですが、その代わりにこの季節ならではの面白い特徴を持つ実(果実)を見ることが出来ます。そのうち幾つかを紹介しま